

くすの花芽分化について

林業試験場熊本支場 農林技官 石 崎 厚 美
助 手 尾 方 信 夫

1. 結 言

林木種子生産の基礎的過程である花芽分化並にその発育経過について実験を行い、2、3の考察を行った。

2. 材料及実験方法

試料の採取は1957年3月20日より、各試木毎に20の冬芽を、最下部の太い枝に着生している尖端の小枝より採った。

試木の概要は下の通り

試木 No.	樹 令	樹 高	胸高直径	樹 種	備 考
No. 1	約 30	11	26	中	試木所在地
No. 2	90	14	76	中	熊本市鹿野町小山田 熊本営木局熊本園
No. 3	90	13	80	中	
No. 4	100	18	80	中	
No. 5	50	6		若	50年生枝條の地上50cmの前から摘芽せるもの 根本直径15cm
No. 6	30	8	20	中	

外部形態については冬芽長、芽の中央部直径をノギスに依り測定、内部形態は顕微鏡を測定し、之を剥ぎ、解剖顕微鏡下で冬芽内部に於ける各腋芽の生長実を露出し、その形態を観察した。

3. 実験結果並に考察

花芽の分化発育の過程を分化初期、分化期、花被初生突起発生、雄蕊初生突起発生、雌蕊初生突起発生との階段に分けることが出来た。(附図参照)

腋芽の分化率は冬芽の外部形態的成長、特に芽長と正の相関々係があるもの、如く(第1表)、1.00cm以下の冬芽に於ては未だ分化が行われていない。此の時期の経後、即ち花芽分化開始期は3月18日～3月20日の間である。

試木毎の分化開始期については、各試木の分化の状態に一定の傾向を更出すことが出来なかつたので、その経過を論ずることは出来なかつた。

50年生枝條より摘芽した樹幹には花芽の着生極めて少いことが明に認められた。

第1表 冬芽長期分化率の一覽表

冬芽設	項目	低試腋芽數	分化數	未分化數	分化率
1.01 ^{40%} ~ 1.50 ^{60%}		37	1	36	2.70%
1.51 ~ 2.00		848	171	677	20.14
2.01 ~ 2.50		1148	710	438	42.48
2.51 ~ 3.00		1514	797	717	52.76
3.01 ~ 3.50		545	222	323	52.84
3.51 ~ 4.00		422	248	174	52.79
4.01 ~ 4.50		573	314	259	53.86
4.51 ~ 5.00		223	133	90	59.14
5.01 ~ 5.50		117	107	60	100%
5.51 ~ 6.00		134	90	44	67.16
6.01 ~ 6.50		41	22	13	62.29

